

大紀町文化フォーラム

地元のテーマで話し合う

瀧原宮、熊野古道伊勢路、東日本大震災を題材に、
まちづくりを考える。



©樋口朱美 2013年

平成 25 年

11月24日(日) 14:00-16:00

会場 大紀町コンベンションホール

主催 大紀町教育委員会

三重県立図書館

入場無料
申込先着
300名様

地元のテーマで話し合う

大紀町には、伊勢神宮の別宮である瀧原宮や、平成26年に世界遺産登録10周年を迎える熊野古道伊勢路といった、全国的にも注目を集める文化資源があります。また、町の沿岸部では、100年単位でくり返される歴史津波の経験から、大規模な地震津波災害への備えが必要とされています。

このたび、大紀町教育委員会と三重県立図書館の共催により、これらをテーマにフォーラムを開催します。ゲストには、瀧原宮、熊野古道伊勢路、東日本大震災のそれぞれについて関わりの深い方々をお招きして、とっておきの話を聞かせていただきます。

このフォーラムが、大紀町のまちづくりを考える機会になればと思います。

プログラム

14:00 主催者挨拶

14:05 基調スピーチ

「聖地としての瀧原宮」	植島啓司
「熊野古道伊勢路の魅力」	福元ひろこ
「東日本大震災で失われたもの」	鎌倉幸子

14:50 総括セッション

「地元の課題を解決するには」	コーディネータ	前田憲司
	パネリスト	植島啓司 鎌倉幸子 福元ひろこ

16:00 閉会



植島啓司 うえしま けいじ

東京都生まれ。東京大学卒業。東京大学大学院人文科学研究科(宗教学専攻)博士課程修了。シカゴ大学大学院に留学後、関西大学教授、人間総合科学大学教授などを歴任。著書に『日本の聖地ベスト100』、『聖地の想像力』、『世界遺産 神々の眠る熊野を歩く』、『偶然のチカラ』、『生きるチカラ』、『心コレクション』、『熊野 神と仏』(共著)など。



鎌倉幸子 かまくら さちこ

青森県生まれ。公益社団法人シャンティ国際ボランティア会に入職後、カンボジアへ赴任し、図書館事業を担当。2011年1月より広報課長。東日本大震災発生後、岩手事務所を立ち上げ、津波で被害を受けた沿岸部で「いわてを走る移動図書館プロジェクト」を開始。2012年より宮城県、福島県でも移動図書館活動をスタートさせた。



福元ひろこ ふくもと ひろこ

東京都生まれ。文筆家。有限会社3Way代表。スペインのサンティアゴ巡礼路を歩いたことをきっかけに、歩く旅が持つ可能性に関心を持ち始める。日本の歩く道を世界に発信し、各国の人が平和に交流できる場とすることを目標にしている。熊野古道伊勢路を歩いた旅エッセイ『歩く旅の本 伊勢から熊野まで』を2013年4月に出版。



前田憲司 まえだ けんじ

三重県生まれ。企画編集者。芸能史研究者。「地域文化」と「芸能」をキーワードに、企画・編集・執筆・講演など多方面で活躍。地域文化の分野では、FM三重や朝日新聞などで番組や連載を持ち、芸能の分野では、『栄光のよしもと80年代漫才』『桂枝雀落語選集』などの著書・監修がある。皇學館大学非常勤講師、文化庁芸術祭執行委員、三重県史執筆委員などを務める。

お申し込み

入場をご希望の方は、下記のいずれかの申込先まで、電話、ファックスもしくは窓口にてお申し込みください。先着300名様をご招待します。お申し込みの際には、入場を希望される方の人数とお名前、代表者の電話番号をお知らせください。

なお、お申し込みが定員になり次第、締め切らせていただきます。

大紀町教育委員会

TEL 0598-72-4040 FAX 0598-72-2470

三重県立図書館

TEL 059-233-1181 FAX 059-233-1191



交通のご案内

- 所在地 度会郡大紀町崎2200-1
- 鉄道 JR伊勢柏崎駅から約5分
- 自家用車 紀勢道紀勢大内山ICより約5分

*ご記入いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。